

【 宮前区役所・市民館・図書館の移転と鷺沼駅前再開発の経緯 】

現宮前区役所存続と鷺沼駅前再開発を考える会

<2015年～2018年>

- 2015年6月 東急電鉄(株)と川崎市。まちづくり包括協定を締結(駅周辺と沿線の街づくり)。
 - 2017年3月 川崎市都市計画都市再開発方針で鷺沼駅周辺を2号再開発促進地区とする。
 - 2017年8月 鷺沼駅前再開発準備組合を設置(東急(株)・子会社2社、横浜銀行、JA川崎の5社)
 - 2018年2月 川崎市「鷺沼駅前周辺再編整備に伴う公共機能の検討」を公表。
 - 5月 宮前区自治会長・町会長を招集。東急より鷺沼駅前再開発地区に区役所移転の打診。
- 川崎市「市民フォーラム」5月、8月、11月の3回開いて公共機能の検討を説明。反対多数。

<2019年>

- 1月 「宮前区役所移転反対と鷺沼駅前再開発を考える会」宮前平駅頭で発足・宣伝。
- 1月 市議会文教委員会 請願「市民周知10%の区役所移転をきめるな」約2600筆を賛成多数で否決。(賛成：自民・公明・みらい・無所属等。反対：共産)
- 2月 宮前区役所・市民館・図書館の移転方針案に意見書が17,829通、23,714件。
 - 3月 福田市長は「総合的判断」で区役所移転を決定。
- 8月 「鷺沼駅前再開発事業に係る条例環境影響評価方法書」(環境アセス)の意見募集。
- 9月 環境アセス意見書12,668通を提出。
- 10月 「考える会」代表2人が東急本社の準備組合にあいさつに行くが面会拒否される。
- 10月 環境アセス審議会。傍聴人多数。委員長「十分な住民説明をするように」と発言。
- 11月 環境アセス審議会。傍聴人多数。川崎市「容積率500%内で住民説明会は不要とした」

<2020年>

- 2月 宣伝チラシ4万枚を区内全域に「会」でポステイング。
- 7月 東急、環境アセス説明会。開発地の300m範囲に地域を限定、コロナ理由に人数制限。
- 8月 川崎市鷺沼駅前地区都市計画素案説明会：公聴会(公述人12人中10人反対)
- 11月 環境アセス公聴会(公述人4人中4人反対)
- 11月 署名用紙と宣伝チラシ、それぞれ4万枚を区内全域に「会」でポステイング。
- 12月 都市計画公述人に川崎市より「東急よる検討が必要なために遅れる」と通知が届く。

「東急からコロナ危機を契機として高まったオープンスペースの重要性や職住近接ニーズに対応した施設計画や機能となるよう検証を行う」旨の申入れがあり「都市計画素案も検証結果を踏まえた検討を行うために遅れる」との主旨の通知。

*東急のこの見直しは、8月31日付け国土交通省「新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性」検討文書の発表に基づいている。

<2021年>

- 1月 考える会と東急の懇談。「緑とオープンスペースの拡充、職住近接の検討のために3ヶ月程度、見直し検討期間が必要」と表明。
- 2月 市議会まちづくり委員会。市は「東急の見直しにより環境アセス・都市計画手続は1年から1年半先送りになる」ことを明らかにした。
- 2月 署名7,637筆を提出。

以上